

第34回 全国産業教育フェア栃木大会 さんフェアとちぎ2024

全国産業教育フェアは、専門高校等の生徒の学習成果を総合的に発表する大会です。

年に1回、各都道府県で全国的な規模で開催し、全国の専門高校等の生徒の学習意欲や産業界、教育界、国民一般への専門高校等の魅力的な教育内容について理解・関心を高め、産業教育の活性化を図っています。

第34回となる栃木大会は、令和6年10月26日、27日にかけて、宇都宮市内の複数会場で開催されました。

(写真は会場となった「マロニエプラザ」の様子)



大会ポスター

宇都宮白楊高校



各種野菜の販売



LRTスイートポテトの販売



加工食品の販売

鹿沼南高校



ミニサツキ盆栽制作



各種野菜の販売



多肉植物寄せ植え体験

宇都宮白楊高校・鹿沼南高校 (協力：栃木県農業大学校・栃木県林業大学校)



果樹・林業VR体験



小山北桜高校



とちぎのお米食べ比べセットの販売

栃木農業高校



大福、鉢植、もち麦の販売

真岡北陵高校



ジャム、味噌、菓子パンの販売

那須拓陽高校



牛乳、味噌パウンドケーキの販売

馬頭高校



缶詰の巻締め体験



金魚すくい



作品展示

矢板高校



ジャージー飲むヨーグルトの販売

栃木県林業大学校



活動記録

栃木県拠点では、各農業関係高校等の展示販売・体験・実演コーナーの様子を取材しました。

当日は、学習成果の発表や実習での成果物の販売が行われ、大勢の来場者でにぎわいました。展示販売や体験・実演の会場となった「マロニエプラザ」では、学習の成果が発揮され、来場者に熱心に対応する各校生徒の姿がみられました。

来年度は、福島県で第35回全国産業教育フェア福島大会の開催が決定しています。